

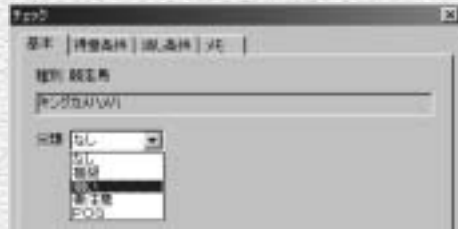
チェック機能

競馬道GT2で分析したデータや実際のレースを見て注目馬や注目騎手を発見したときに便利なのが[チェック]機能です。チェックされた競走馬や種牡馬、騎手、調教師は出馬表等の画面で目立つようにマークがついたり、カラー表示されます。

チェック項目の追加



① チェックしたい競走馬の画面を表示して、メインメニューの[拡張コマンド]から[チェック]を選択するか、[拡張コマンド]ボックスの[チェック馬]にチェックを入れます。種牡馬、騎手、調教師についても同様にチェックすることができます。



② [拡張コマンド]の[チェックの編集]を選択します。[チェック]ウインドウの[基本]タブが開きますので、[分類]を選択します。[分類]は[推奨][狙い][要注意][POG](競走馬のみ)の4項目で情報TODAY(→はじめてガイド40ページ)に表示されます。

③ 続いて[得意条件]タブをクリックして、その馬の得意条件を設定します。まずウインドウ左上の[条件を設定する]にチェックを入れ、[競馬場・距離条件]や[周回]などを設定します。同様に[消し条件]タブの内容も設定します。数値を入力する項目に条件を設定しない場合は、範囲を[0~0]に指定します。なお、[メモ]もこの画面から[メモ]タブを選択すれば編集可能です。[メモ]に関する詳細は100~101ページをご覧ください。



アドバイス

チェックデータの一覧

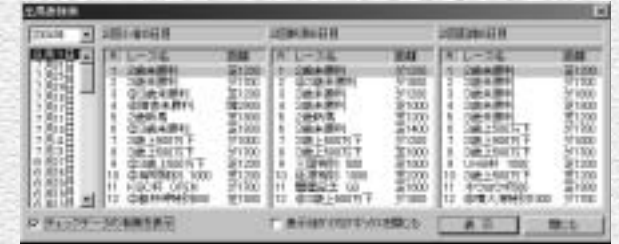


[分類]や[得意条件][消し条件]は設定しなくても、チェックデータに登録されていれば、出馬表で反転表示されます。また、一度登録したチェックデータの編集は、[拡張コマンド]から[チェックの編集]を選択する他に、メインメニューの[チェック・メモ]から[チェックデータ表示]を選択しても可能です。なお、チェックデータを削除する場合は、この[チェックデータ表示]から行なってください。

チェックデータの活用法

出馬表を表示するときに、チェックデータの有無を調べる

① メインメニューの[出馬表]から[出馬表・開催日検索]を選択し、[出馬表検索]ウインドウを開きます。[チェックデータの有無を表示]という項目にチェックを入れると、チェックデータの組合せによって①~⑮までの数字が表示されます。



- ①---- 馬
- ②---- 騎手
- ③---- 馬+騎手
- ④---- 種牡馬
- ⑤---- 馬+種牡馬
- ⑥---- 騎手+種牡馬
- ⑦---- 馬+騎手+種牡馬
- ⑧---- 厩舎
- ⑨---- 馬+厩舎
- ⑩---- 騎手+厩舎
- ⑪---- 馬+騎手+厩舎
- ⑫---- 種牡馬+厩舎
- ⑬---- 馬+種牡馬+厩舎
- ⑭---- 騎手+種牡馬+厩舎
- ⑮---- 馬+騎手+種牡馬+厩舎

チェックデータの表示

① チェックデータに登録された競走馬(または種牡馬、騎手、厩舎)が出走している出馬表を開くと、該当するデータがカラー表示されます。カラー表示の凡例は下記の通りです。また、このデータは情報TODAY(→はじめてガイド40ページ)にも表示されます。



カラー表示の凡例

- 背景ピンク … チェックあり
- 背景赤 … 得意条件に合致
- 文字グレー … 消し条件に合致
- 背景グレー … 得意条件、消し条件の双方に合致

メモデータの管理

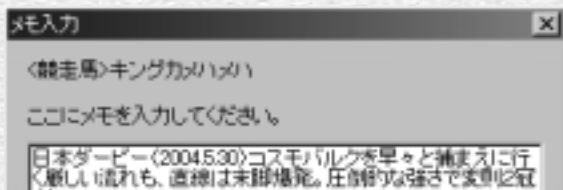
【メモ】は、ユーザがレースで見て感じたことや、結果についての印象等を文章で入力できる機能です。数字をもとに予想するだけではなく、こういったアナログのデータも参考にすれば、後で思わぬ好結果を招くこともあるでしょう。

メモデータを編集する

① まず【出馬表】【成績】【競走馬】【種牡馬】【騎手】【厩舎】のいずれかの画面を表示させます。続いて、メインメニューの【チェック・メモ】から【メモ編集】を選択し、【メモ入力】ウインドウを開きます。



② 表示されたウインドウの入力欄に、直接文章を入力していきます。別途、Windowsのメモ帳などで入力した文章をクリップボードにコピーし、マウスの右クリックから【貼り付け】を選択して貼り付けることもできます。入力が終了したら【OK】をクリックしてウインドウを閉じればメモの編集は完了です。



アドバイス

メモ管理のテクニック

すでに登録済みのメモは、再度【出馬表】【成績】【競走馬】【種牡馬】【騎手】【厩舎】のいずれかの表示から【メモ編集】を選択することで表示、編集することができます。また、同時にチェックデータに登録しておけば、チェックデータの編集と同じ手順から【メモ】タブを選ぶことでも編集できます(→98ページ)。登録している競走馬や、その騎手、厩舎、種牡馬が出走する場合は、

出走表のユーザメモ(→79ページ)でも表示できます。メモに入力した言葉は次項で紹介する【メモ検索】機能において、検索のためのキーワードとなります。文章の頭に小見出しをつけるなど、自分なりの一定のルールを決めて簡潔に入力しておくことがポイントです。

入力した【メモ】を検索する

① 入力した【メモ】は指定した文字列から検索することができます。メインメニューの【チェック・メモ】から【メモ検索】を選択すると、【メモ検索】ウインドウが開きます。【検索文字列を入力してください】の項目に、探したいメモに関連するキーワードを入力して【検索】をクリックします。メモが登録されている全データを表示したい場合は【全検索】をクリックしてください。



② 入力された文字列を含む【メモ】の検索結果が下のボックスに表示されます。左側の【分類】はメモが登録できる【出馬表】【成績】【競走馬】【種牡馬】【騎手】【厩舎】のいずれかが表示され、どの分類に対してのメモなのか判ります。【分類】の右側にある【タイトル】には、競走馬名や騎手名などが表示されます。



③ 検索結果から、表示したい項目を選択して【表示】をクリックすると、それぞれの【タイトル】に応じた画面が表示されます。画面は、競走馬画面が表示された例です。この画面で、メニューの【チェック・メモ】から【メモ編集】を選択すれば、メモを書き換えたり内容を追加することができます。



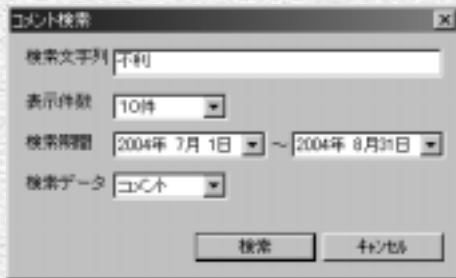
コメントデータの検索

競馬道GT2では、登録されている[騎手コメント]や[次走へのメモ]を任意のキーワードで検索することができます。前走で不利を受けた馬や太目残りだった馬などを検索してチェック馬に登録しておけば、馬券作戦に役立つでしょう。

コメントの検索方法



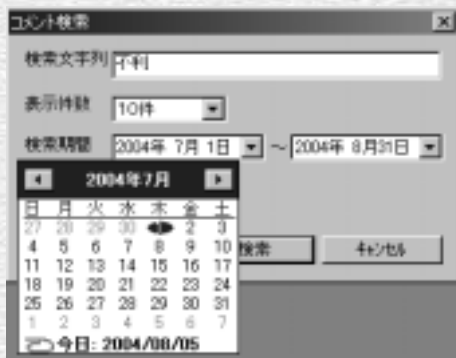
① コメントの検索は、メインメニューの[検索]から[コメント]を選択して行ないます。



② 検索したい文字列を入力します。文字列を「不利 4角」のようにスペースで区切ると、どちらかの文字列が含まれる[騎手コメント] (または[次走へのメモ]) を検索します。



③ 次に、一度に何件のコメントを表示するかを設定します。検索後に同じキーワードで続けて次のコメントを検索(拡張コマンドの「次を検索」)できますので、件数は少なめにしても問題ありません。



④ 検索期間を設定します。[▼]をクリックするとカレンダーが表示されますので、指定したい日をマウスでクリックします。下の[今日]をクリックすると、当日の日付を設定します。

⑤ 検索期間は、手順④のようにカレンダーで指定するほかに、直接日付をキーボードから入力して行なうこともできます。表示されている日付と、実際に指定したい日付が大きく離れている場合は、日付を直接入力の方が手早く検索期間を設定できます。



⑥ 検索したいコメントの種類を指定します。[コメント]は[騎手コメント]から、[メモ]は[次走へのメモ]から、キーワードに合う文字列を検索します。

※ここでの[メモ]はコメントデータの[次走へのメモ]を指します。100ページ、101ページで説明する「メモ機能」の[メモ]ではありませんのでご注意ください。



⑦ [検索文字列][表示件数][検索期間][検索データ]全ての設定が終了したら、[検索]ボタンをクリックします。検索中の画面が表示され、コメントの検索が開始されます。検索にかかる時間は[検索文字列]がコメントに現れる頻度や、[表示件数]の数、パソコンの性能等によって異なります。

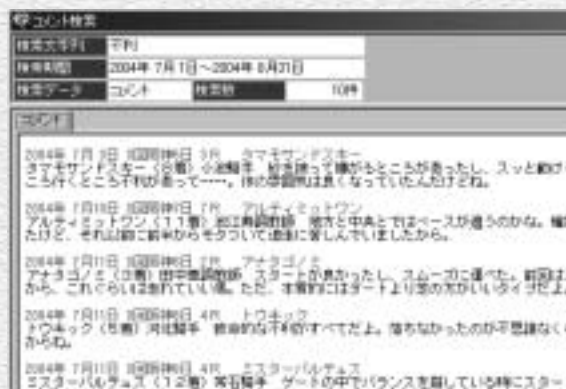


※前日コメントは検索できませんのでご注意ください。

- ⑧ 検索が終了すると、[検索文字列]にマッチしたコメントが一覧表示されます。画面右のスクロールバーを動かせば、全てのコメントを読むことが可能です。



- ⑨ ウィンドウのうち、青色の文字で表示されているレース番号や馬名をクリックすると、それぞれ対応するレースの成績画面や競走馬画面を表示することが可能です。画面のように、マウスのポインタが手の形になった場所から、それぞれの画面を開くことができます。



- ⑩ 手順⑨でレース番号をクリックした画面です。このように、該当するレースの成績画面が別ウィンドウに表示されます。ここで馬名や騎手名をクリックすれば、さらに競走馬画面や騎手画面が開きます。



- ⑪ 同じ条件で続けて検索を行なう場合は、メインメニューの[拡張コマンド]から[次を検索]を選択します。再び検索中の画面が表示され、ヒットしたコメントが一覧表示されます。



- ⑫ [次を検索]で「既に最後まで検索されています。」と表示されたら、指定した検索期間内のコメント検索は終了しています。期間を指定し直して再度検索してください。



- ⑬ 103ページ手順⑥で[メモ]を選択して検索した例です。この画面でも[コメント]から検索した場合と同様に、レース番号や馬名をクリックすると、成績画面や競走馬画面を表示することができます。



アドバイス

検索文字数はできるだけ少なく！

コメントを検索する際は、できるだけ[検索文字列]の文字数を少なくした方が、より目的とするものに近いコメントを探し出しやすくなります。例えば、「挟まれた」という文字列で検索すると、コメントの中に「挟まれた」と書かれているものしかヒットしません。しかし「挟」だけで検索すれば、「挟まれるような場面があり」とか、「4コーナーで挟まれて」といったものも検索に該当するコメントとして扱われます。また、同じ事柄に対して複数の表現がある場合は、それぞれをスペースで区切って全て入力するといいでしょう。「馬体が細めだった」というコメントが出ていた馬を検索したければ、[検索文字列]を「細め」ではなく「細 ガレ」として検索すると、「馬体細化」や「ガレ気味」

といったコメントも対象になります。さらに広げて「腹回り」や「トモ」などという単語を入れれば、目的とする馬やコメントが見つかる可能性が高まります。

このように検索したコメントは、競馬道GT2の他の機能と併せて利用すると、馬券検討のより強力な武器となります。注目に値するコメントが見つかったとき、該当する馬を98ページ以降で解説した[チェック]機能でチェック馬に登録しておけば、次に出走したときに見逃すことはありません。また、自分でなにかコメントにつけ加えたいことがあれば、100ページ以降で解説した[メモ]機能を利用して、自らコメントをつけることも可能です。